経営比較分析表（令和5年度決算）

茨城県　利根町

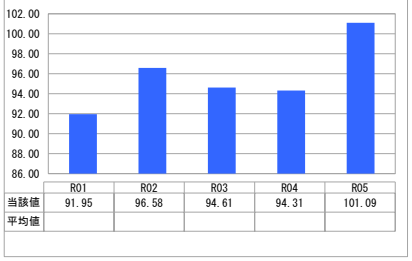
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	該当数値なし	88.38	83.49	2,640

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
15,427	24.86	620.56
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
13,496	3.93	3,434.10

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	91.95	96.58	94.61	94.31	101.09
平均値					

②累積欠損金比率(%)

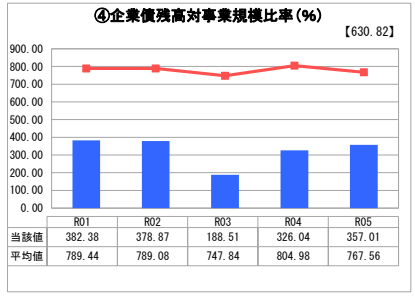
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値					
平均値					

③流動比率(%)

	R01	R02	R03	R04	R05
当該値					
平均値					

④企業債残高対事業規模比率(%)

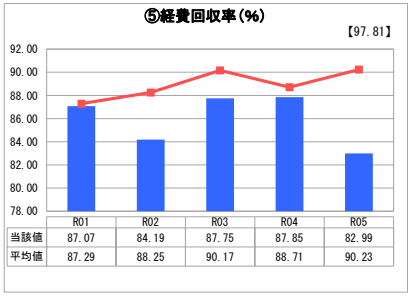
【630.82】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	382.38	378.87	188.51	326.04	357.01
平均値	789.44	789.08	747.84	804.98	767.56

⑤経費回収率(%)

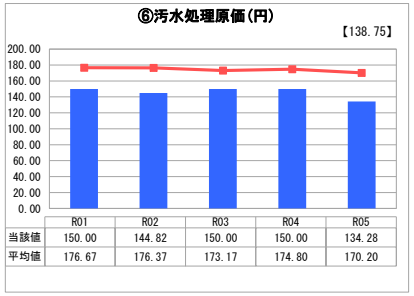
【97.81】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	87.07	84.19	87.75	87.85	82.99
平均値	87.29	88.25	90.17	88.71	90.23

⑥汚水処理原価(円)

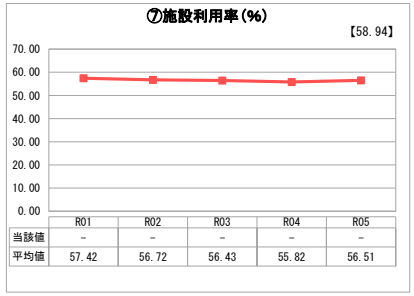
【138.75】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	150.00	144.82	150.00	150.00	134.28
平均値	176.67	176.37	173.17	174.80	170.20

⑦施設利用率(%)

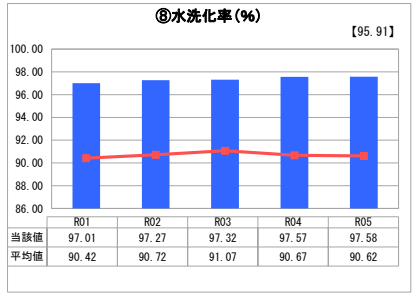
【58.94】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	-	-	-	-
平均値	57.42	56.72	56.43	55.82	56.51

⑧水洗化率(%)

【95.91】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	97.01	97.27	97.32	97.57	97.58
平均値	90.42	90.72	91.07	90.67	90.62

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

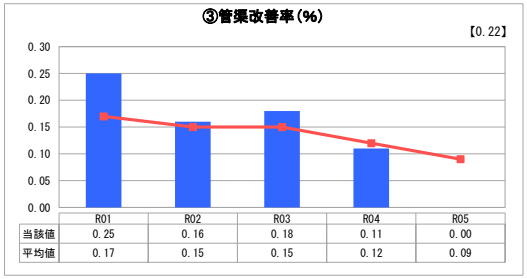
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値					
平均値					

②管渠老朽化率(%)

	R01	R02	R03	R04	R05
当該値					
平均値					

③管渠改善率(%)

【0.22】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.25	0.16	0.18	0.11	0.00
平均値	0.17	0.15	0.15	0.12	0.09

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
当町では令和6年度から公営企業会計へ移行したため，令和5年度は打ち切り決算による未払い，未収により，総収益，総費用共に前年度よりも減少した。前年度の数値より上昇したのは，汚水処理費において未払い費用が多かったことが要因である。
④企業債残高対事業規模比率
類似団体平均値と比較すると，低い数値となっている。今後も適切な改築・更新事業の推進と健全な経営の両立を図るために，計画的な借り入れを行う必要がある。
⑤経費回収率
打ち切り決算により2か月分の下水道使用料収入が未収となっていることが，前年度より低い数値となっている要因である。今後は，適正な使用料収入を確保することで経費回収率の改善に繋がるよう，使用料の見直しを視野に入れた検討を行う必要がある。
⑥汚水処理原価
打ち切り決算により未払いの汚水処理費があるため，前年度より減少している。類似団体平均値と比較して，低い数値となっており，今後も費用の削減や使用料の改定などを検討し，経営の健全化に努めていく必要がある。
⑧水洗化率
　供用開始から50年近く経過しているため，類似団体平均値と比較すると，高い数値となっている。今後もこの水準を保てるよう，住民に向け下水道の普及・啓発に努める。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
平成25年度まで汚水管渠新設工事を行ってきたが，30年以上経過している汚水管渠が77kmと全体の79%を占めている。平成27度からは汚水管渠更生工事を開始し，汚水管の耐震化・長寿命化を進めている。令和5年度においては，既設のストックマネジメント計画の改築工事が完了したことから，ストックマネジメント計画の作成を行い，工事は実施していない。

全体総括

　当町の下水道事業においては，人口減少に伴う使用料収入の減少や施設の老朽化に伴う更新費用の増大により，経営環境の悪化が懸念される。
　今後は経営状況の改善に向け，下水道の普及促進による水洗化率の向上と下水道使用料収入の確保に努めるとともに，下水道使用料の適正化について検討を行う。また，施設の老朽化対策としては，ストックマネジメント計画に基づき，計画的な改築・更新を進め，更新費用の平準化を図ることで経営の健全化・効率化に取り組んでいく。